第 149 回研究会:平成 28 年 4 月 6 日

1.	The predictive validity of a modified Japanese Nursing Association fall risk assessment tool : A retrospective cohort study	東恩納美樹（老年看護学）
2.	Childhood dental caries and guardians’ self-efficacy in an urban district of Lao PDR	野中大輔（国際地域保健学）
3.	大学間連携共同教育推進事業「多価値尊重社会の実現に寄与する学生を養成する教育共同体の構築」～ナーシング・キャリアカフェの紹介～	砂川洋子（成人・がん看護学）

第 150 回研究会:平成 28 年 5 月 11 日

1.	看護基礎教育における地域志向性の育成に向けた取り組み	平安名由美子（基礎看護学）
2.	CD10 を発現する子宮内膜混合癌の予後について	金城貴夫（形態病理学）

第 151 回研究会:平成 28 年 6 月 1 日

1.	CGMS を用いた糖尿病個別療養支援効果の検証（その 2）	具志堅美智子（国際地域保健学）
2.	国際感染症対策にむけた取り組み～看護ケアの視点～	大湾知子（成人・がん看護学）

第 152 回研究会:平成 28 年 7 月 6 日

1.	田芋の水溶性食物繊維がマクロファージの抗ウィルス因子に及ぼす影響	宮良恵美（血液免疫検査学）
2.	沖縄における養護教諭教育に関する一考察 ～養成機関の変遷から～	和氣則江（臨床心理・学校保健学）
3.	救急看護師の完全志向主義および職場ストレスが抑うつ傾向に及ぼす影響	與古田孝夫（精神看護学）

第 153 回研究会:平成 28 年 8 月 3 日

1.	臨床看護師に対する看護研究支援への取り組み	遠藤由美子（母性看護·助産学）
2.	保健師が認識する学童期の発達障がい児支援の必要性	當山裕子（地域看護学）
3.	沖縄県の HTLV-1/ATL 第二報	福島卓也（血液免疫検査学）

第 154 回研究会:平成 28 年 10 月 5 日

1.	支援契機別による保健師のこども虐待ボーダーライン支援事例の特徴	外間知香子（地域看護学）
2.	窒素ガスプラズマによるアフラトキシン B1 の分解·不活化	作道章一（生体代謝学）
3.	助産学生による思春期健康教育（ピア・エデュケーション）の取り組み	大嶺ふじ子（母性看護·助産学）

第 155 回研究会:平成 28 年 11 月 2 日

1.	沖縄県 5 市における 3 歳児の睡眠に関する保護者の知識と入眠の工夫との関連	儀間繼子（小児看護学）
2.	腸炎ビブリオの鉄獲得受容体に関する研究	中尾浩史（分子遺伝学）

第 156 回研究会:平成 28 年 12 月 7 日

1.	統合失調症患者家族への Social Skills Training（SST）を活用した介入効果の検証	高原美鈴（精神看護学）
2.	看護師の職業的アイデンティティ形成に関連する要因の検討ー臨床経験年数の段階別による比較ー	眞榮城千夏子（基礎看護学）
3.	小離島住民の要介護期の暮らし意向に関連する要因の検討	古謝安子（在宅・慢性期看護学）

第 157 回研究会:平成 29 年 1 月 11 日

1.	13q14 片アレル欠失を有する軟部腫瘍の FOXO1 発現と p38 MAPK 活性の関連について	上原佳里奈（形態病理学）
2.	沖縄県内の環境水からの AmpC 及び MBL 産生菌の分離	宮城和文（病原体検査学）
3.	自閉症スペクトラム障がい者の就労継続における母親のかかわり	辻野久美子（小児看護学）

第 158 回研究会:平成 29 年 2 月 1 日

1.	非妊時 BMI 区分別に見た妊婦の栄養状態･栄養素摂取状況の特徴	玉城陽子（母性看護･助産学）
2.	沖縄県児童生徒の肥満と登校手段	尾尻義彦（生理機能検査学）
3.	思春期のアルコール使用におよぼす近隣および学校の相対的文脈効果	高倉実（疫学・健康教育学）

第 159 回研究会:平成 29 年 3 月 1 日

1.	大学間連携共同教育推進事業における海外研修報告会の実施と評価ｰ県内看護系大学生のアンケート結果から一	照屋典子（成人・がん看護学）
2.	地球温暖化にともなう熱帯感染症のリスクと沖縄での施策提言に関する研究	小林潤（国際地域保健学）
3.	学校健診における尿検査	粟田久多佳（生理機能検査学）

第 160 回研究会:平成 29 年 4 月 5 日

1.	保健学科の看護教育の変遷:既存の資料より教育組織と看護系教員数から	國吉緑（老年看護学）
2.	看護師のワークライフバランスと精神健康との関連及び職場内信頼感の緩衝作用	豊里竹彦（基礎看護学）
3.	Impacts of dental caries treatment on physical development among Lao children : a longitudinal study	野中大輔（国際地域保健学）

第 161 回研究会:平成 29 年 5 月 17 日

1.	保健師がこども虐待を予防できたと思う事例の有無と母子事例支援の経験･方法	外間知香子（地域看護学）
2.	ベトナムの鳥農場における ESBL 産生菌の分布	平井到（病原体検査学）
3.	沖縄県の子宮頸部病変と HPV	金城貴夫（形態病理学）

第 162 回研究会:平成 29 年 6 月 7 日

1.	八重山地区における看護研究支援の取り組み	遠藤由美子（母性看護･助産学）

2.	The predictive validity of a modified Japanese Nursing Association fall risk assessment tool among patients with psychiatric disorders	東恩納美樹（老年看護学）

第163回研究会:平成29年7月5日

1.	妊娠期推奨体重増加量別にみた母体の身体的·生理的因子および栄養素摂取量と出生体重との関連	玉城陽子（母性看護·助産学）
2.	持続血糖測定器がもたらす就労糖尿病者の療養行動変容 -グランテツド・セオリー・アプローチによる分析ー	具志堅美智子（国際地域保健学）
3.	沖縄県、アジア・太平洋地域のHTLV-1	福島卓也（血液免疫検査学）

第164回研究会:平成29年8月2日

1.	地域母子保健活動における助産師雇用の有効性	大嶺ふじ子（母性看護·助産学）
2.	オキナワモズクフコイダンの抗炎症・抗ウィルス作用	宮良恵美（血液免疫検査学）
3.	βグルカン添加もろみ酢のヒトによる飲用試験	尾尻義彦（生理機能検査学）

第165回研究会:平成29年10月4日

1.	3歳児を養育する家庭における災害への備え	當山裕子（地域看護学）
2.	沖縄県A市における3歳児の睡眠習慣の2011年度との比較	儀間繼子（小児看護学）
3.	介護施設のある小離島で高齢者を介護し看取る経験プロセス	古謝安子（在宅・慢性期看護学）

第166回研究会:平成29年11月1日

1.	沖縄における養護教諭教育の現状と今後の課題	和氣則江（臨床心理・学校保健学）
2.	ロールモデルと制御焦点が新人看護師の看護実践能力に与える影響	眞榮城千夏子（基礎看護学）
3.	統合失調症を患う息子に対応する母親の家族生活の経験プロセス	高原美鈴（精神看護学）

第167回研究会:平成29年12月6日

1.	Reverse innovation on school health； Apply to Japan from low and middle income countriesj	小林潤（国際地域保健学）
2.	沖縄県の勤労者における職業性ストレスと身体活動・座位行動との関連 ー看護職とデスクワーカの職種間比較ー	平安名由美子（基礎看護学）

第168回研究会:平成30年1月10日

1.	ラオス国サワナケート県における外国人労働者のマラリア:横断研究	野中大輔（国際地域保健学）
2.	ヒト膵がん細胞の低酸素応答制御によるTRAIL感受性の増強	原嶋奈々江（生体代謝学）
3.	The role of collective efficacy in school and neighborhood contexts in adolescent alcohol use	高倉実（疫学・健康教育学）

第 169 回研究会:平成 30 年 2 月 7 日

1.	HPV 陽性口腔癌のポリ ADP リボースポリメラーゼ活性と治療感受性の関連	上原佳里奈（形態病理学）
2.	ガスプラズマの食品殺菌技術への応用と農産物に特化した装置の開発	作道章一（生体代謝学）
3.	看護師のターミナルケアへの積極性とリフレクションとの関連	豊里竹彦（基礎看護学）

第 170 回研究会:平成 30 年 3 月 7 日

1.	大学生の SNS 使用に関するアンケート調査報告 〜九州沖縄看護系大学コンソーシアム参加校の学生を対象とした調査から〜	照屋典子（成人・がん看護学）
2.	細菌の細胞分裂周期とその調節	平井到（病原体検査学）
3.	腸炎ビブリオの鉄獲得受容体に関する研究	中尾浩史（分子遺伝学）

第 171 回研究会:平成 30 年 4 月 4 日

1.	臨床検体と一般家庭の井戸水から分離された Aeromonas 菌種の比較検討	宮城和文（病原体検査学）
2.	沖縄の島嶼地域における地域愛着とソーシャルサポートおよび生きがい感の検討	與古田孝夫（精神看護学）
3.	看護学教育モデル･コア･カリキュラム対応チェックシートを活用して現行カリキュラムの内容を確認	國吉緑（老年看護学）

第 172 回研究会:平成 30 年 5 月 9 日

1.	沖縄県における動物媒介性感染症のリスクとイノベーション	小林潤（国際地域保健学）
2.	Effect of the partnership nursing model on in-hospital mortality in Japan	東恩納美樹（老年看護学）

第 173 回研究会:平成 30 年 6 月 6 日

1.	女性看護職の各年代における東洋医学的尺度を用いた健康状態の特徴	遠藤由美子（母性看護･助産学）
2.	low-risk HPV E6/E7 と EBV LMP-I の二重発現モデルを用いた形質転換能の評価	上原佳里奈（形態病理学）
3.	内分泌細胞診指数からみた閉経期子宮頸部細胞診の特徴	金城貴夫（形態病理学）

第 174 回研究会:平成 30 年 7 月 4 日

1.	沖縄 HTLV-1/ATL 第 2 報	福島卓也（血液免疫検査学）
2.	女子学生の月経の現状と生活習慣･食習慣との関連	玉城陽子（母性看護･助産学）
3.	沖縄県 A 市における 3 歳児の睡眠とメディアとの関連	儀間繼子（小児看護学）

第 175 回研究会:平成 30 年 8 月 1 日

1.	オキナワモズク由来フコイダンの抗 HTLV-1 作用	宮良恵美（血液免疫検査学）
2.	統合失調症の息子を抱える父親の対応意識の変容プロセス	髙原美鈴（精神看護学）
3.	南スーダンにおける助産師現任研修受講者のスキル向上の認識に影響を及ぼす要因の研究	大嶺ふじ子（母性看護･助産学）

第 176 回研究会:平成 30 年 10 月 3 日

1.	在宅医療･地域包括ケアにおけるサルコペニア予防プログラムによる夜間頻尿を指標とした生活習慣病改善システムの確立	大湾知子（成人・がん看護学)
2.	洗剤のプリオン不活化効果とプロテアーゼ添加の応用	作道章一（生体代謝学)
3.	小離島自治体の地域包括ケアに係わる関係者のシステム構築の経験プロセス	古謝安子（在宅・慢性期看護学)

第 177 回研究会:平成 30 年 11 月 7 日

1.	Analysis of Gaps among Stakeholders of Occupational Health and Safety in the PhilippinesJ	Paul MichaelR. Hernandez （国際地域保健学)
2.	子育て中の母親の「地域への愛着」に関連する要因	當山裕子（地域看護学)
3.	学校検診における尿検査	粟田久多佳（生理機能検査学)

第 178 回研究会:平成 30 年 12 月 5 日

1.	HIV 治療薬であるエファビレンツが肝臓の障害を起こすメカニズム - ミトコンドリアに対する影響 -	今泉直樹（分子遺伝学)
2.	看護職におけるコミュニケーションスキルと感情労働、心理的ストレス反応の関連	眞榮城千夏子（基礎看護学)
3.	治療抵抗性がんにおける細胞死研究	原嶋奈々江（生体代謝学)

第 179 回研究会:平成 31 年 1 月 9 日

1.	病院看護師の看取りケアの現状と課題	豊里竹彦（基礎看護学)
2.	保健師による母子健康手帳交付面接の実態と引継ぎ方法	外間知香子（地域看護学)
3.	沖縄・フィリピンにおける教員のジカウイルス感染症に関する健康知識・行動調査	児玉光也（国際地域保健学)

第 180 回研究会:平成 31 年 2 月 6 日

1.	持続血糖測定 Free Style リブレは糖尿病負担感情を軽減できるか-速報-	具志堅美智子（国際地域保健学)
2.	沖縄県の養護教諭による保健指導の実施状況	和氣則江（臨床心理・学校保健学)
3.	学校力は高校生の性行動における社会格差を緩衝するか？	高倉実（疫学・健康教育学)

第 181 回研究会:平成 31 年 3 月 6 日

1.	沖縄県 A 病院における HIV 患者の服薬アドヒアランスと関連要因	當山紀子（地域看護学)
2.	Insertion Sequence による薬剤耐性遺伝子の移動について	平井到（病原体検査学)
3.	市民マラソンランナーの脂肪代謝　～サブ４ランナーの特徴～	尾尻義彦（生理機能検査学)

第 182 回研究会:平成 31 年４月３日

1.	看護学コースにおけるカリキュラム再構築に向けての取組み	國吉緑（老年看護学)

2. “看護学士課程におけるコアコンピテンシーと卒業時到達目標”の達成状況―３・４年次アンケート調査結果から― 照屋典子（成人・がん看護学）
3. Promotion of primary health care activities in rural villages of Lao PDR by village assessment checklist 野中大輔（国際地域保健学）

第183回研究会:令和元年5月8日
1. 沖縄県A病院におけるHIV患者のソーシャルキャピタルと健康の関連 當山紀子（地域看護学）
2. 臨床と環境由来Aeromonas菌種の病原性の比較とクローン識別 宮城和文（病原体検査学）

第184回研究会:令和元年6月5日
1. 孫育てにかかわる祖母の育児支援内容、身体活動および健康関連QOL 遠藤由美子（母性看護・助産学）
2. low-risk HPV E6とEBV LMP-1の二重発現における形質転換 上原佳里奈（形態病理学）
3. Aging and Health：Global concept and It’s implementation in middle income countries in Asia and Japan. 小林潤（国際地域保健学）

第185回研究会:令和元年7月3日
1. 看護学生の月経･基礎体温に関連した生活習慣・食習慣の推移 玉城陽子（母性看護･助産学）
2. 沖縄県5市における3歳児の睡眠習慣と就園状況との関連 儀間繼子（小児看護学）
3. AIDS関連型カポジ肉腫と古典型カポジ肉腫の臨床症状とKaposi’s sarcoma-associated herpesvirus （KSHV）K1遺伝子の形質転換能との関連について 金城貴夫（形態病理学）

第186回研究会:令和元年8月7日
1. 成人T細胞白血病発症のバイオマーカーの探索 福島卓也（血液免疫検査学）
2. 排尿ケアチームの活動と課題 大湾知子（成人・がん看護学）
3. 統合失調症患者の「家族会」におけるSSTの有効性:フォーカス・グループ・インタビューデータの分析から 高原美鈴（精神看護学）

第187回研究会:令和元年10月2日
1. 沖縄県の母子保健推進員の組織化と駐在保健婦 當山裕子（地域看護学）
2. Effect of Fresh Glucose Monitoring on Burden Feeling in People with Diabetes： Measurement of Diabetes EmotionaI Problems and Clinical Assessment 具志堅美智子（国際地域保健学）

第188回研究会:令和元年11月6日
1. 看護師における勤務時間および余暇時間の身体活動量と職業性ストレスの関連 眞榮城千夏子（基礎看護学）
2. アセトアミノフェン肝障害に対するミトコンドリアをターゲットとしたメチレンブルーの保護作用について 今泉直樹（分子遺伝学）

3. ポリメトキシフラボノイドによる抗腫瘍効果の検討　原嶋奈々江（生体代謝学）

第 189 回研究会:令和元年 12 月 4 日

1. 母子健康手帳交付面談で把握した妊婦を地区担当保健師へ引継ぐ基準と方法　外間知香子（地域看護学）
2. 看護師のターミナルケアにおける症状管理および意思決定支援とリフレクション（振り返り）との関連　豊里竹彦（基礎看護学）

第 190 回研究会:令和 2 年 1 月 8 日

1. 米国占領政策下の沖縄における″養護教諭”誕生と発展に関する一考察　和氣則江（臨床心理・学校保健学）
2. 青少年の喫煙行動にみられる社会経済格差は拡大あるいは縮小しているのか?　高倉実（疫学・健康教育学）

第 191 回研究会:令和 2 年 2 月 5 日

1. 地域高齢者の地域への愛着が生きがい意識に及ぼす影響　與古田孝夫（精神看護学）
2. ９年間の追跡調査からみえた今帰仁の健康長寿の秘訣　尾尻義彦（生理機能検査学）
3. 宿主細胞内情報伝達に肺炎クラミジア感染が及ぼす影響　平井到（病原体検査学）

第 192 回研究会:令和 2 年 3 月 4 日

1. Promotion of handwashing with soap in rural villages of Lao PDR, using a positive deviance approach： research protocol　野中大輔（国際地域保健学）
2. 戦後沖縄の島嶼地域における駐在保健師のレジリエンス　當山紀子（地域看護学）

新型コロナウイルス感染防止のため中止

第 193 回研究会:令和 5 年 5 月 10 日

1. Aeromonas 菌種の臨床と環境分離株の極鞭毛の flaA 遺伝子に関する解析　宮城和文（病原体検査学）
2. 妊娠期のポータブル超音波機器使用効果について－第１報－　玉城陽子（母性看護･助産学）
3. がん体験者を活用したがん教育推進の取組み　照屋典子（成人・がん看護学）

第 194 回研究会:令和 5 年 6 月 7 日

1. 内分泌細胞診指数を用いた閉経後子宮頸部の異型細胞の特徴　金城貴夫（形態病理学）
2. 新型コロナウィルス感染症流行下における看護職の業務,ストレス認知,自覚的健康　遠藤由美子（母性看護･助産学）

第 195 回研究会:令和 5 年 7 月 5 日

1. 研究は先輩の第六感を越えられるのか?　関口浩至（在宅・慢性期看護学）
2. ATL 研究　福島卓也（血液免疫検査学）
3. 母親と子どもの健康のための活動～30 年を振り返って～　當山紀子（地域看護学）

第 196 回研究会:令和 5 年 8 月 2 日

1.	女性と助産師のパートナシップに関する質的研究	嵩元リカ（小児看護学）
2.	ファイトケミカルの抗がん作用	原嶋奈々江（生体代謝学）
3.	Covid19 禍で働く看護師の精神健康とスティグマとの関連について	豊里竹彦（基礎看護学）

第 197 回研究会:令和 5 年 10 月 4 日

1.	米国統治下の沖縄における“養護教諭”の活動を支えた要因の検討	和氣則江（臨床心理・学校保健学）
2.	小児の健診について	栗田久多佳（生理機能検査学）
3.	沖縄県内行政保健師の人材育成の現状	當山裕子（地域看護学）

第 198 回研究会:令和 5 年 11 月 1 日

1.	看護師における感情労働と職場サポートが心理的ストレスに及ぼす影響について	眞榮城千夏子（基礎看護学）
2.	宮古ビデンス・ピローサの一酸化窒素産生能を応用した多機能性食品の開発	今泉直樹（生理機能検査学）
3.	生物統計の視点を入れた医学研究	米本孝二（生物統計学）

第 199 回研究会:令和 5 年 12 月 6 日

1.	沖縄県内で分離された淋菌の薬剤感受性の推移	中尾浩史（分子遺伝学）
2.	看護師として多職種で取り組む患者への排尿自立指導〜看護実践・教育・大学のユニフィケーション	大湾知子（成人・がん看護学）
3.	APACPH 報告	小林潤（国際地域保健学）

第 200 回研究会:令和 6 年 1 月 10 日

1.	母子健康手帳交付面談で把握した妊婦を地区担当保健師へ引継ぐ基準と方法	外間知香子（地域看護学）
2.	沖縄に来てからの栄養学研究	伊藤早苗（生体代謝学）
3.	沖縄の青少年における健康と社会的決定要因の動向	高倉実（疫学・健康教育学）

第 201 回研究会:令和 6 年 2 月 7 日

1.	島嶼地域におけるがんサバイバーの就労支援の現状とサポート体制の構築	前田縁子（成人・がん看護学）
2.	次世代シーケンサーの登場によって大きく変わった細菌学の研究分野の中で現在やろうとしている薬剤耐性菌研究	平井到（病原体検査学）
3.	80 歳以上高齢者のスピリチュアリティと精神健康との関連	與古田孝夫（精神看護学）

第 202 回研究会:令和 6 年 3 月 6 日

1.	ラオス国サワンナケート県セポン郡における少数民族女性の妊娠の認識から母子保健サービスにつながる過程	川満早（国際地域保健学）
2.	ATL における PRKCB・CARD11 変異共存の臨床的／生物学的意義の解析	崎浜秀悟（血液免疫検査学）
3.	統合失調症患者を支える家族に対する家族会支援プログラム構築に向けた研究	髙原美鈴（精神看護学）